

第150回 理学部コロキウム

理学部就職・進路指導委員会 共催

国内労働現場における化学物質管理の転換期 (作業環境測定士の観点から)

一般財団法人 上越環境科学センター 畑澤 尚宏



お客様の事業所での
作業環境測定



有機溶剤の
ガスクロマトグラフ分析

日時：10月22日（水）16:30～17:40（紹介・質疑応答含む）

場所：B303講義室

講演概要

理学部ということで、研究活動や実験で化学物質を取り扱うことはよくあることかと思います。では、労働現場ではどうでしょうか？日本の労働環境で使用されている化学物質は約7万物質以上あると言われています。その中には、取り扱い方法を誤ると労働者の健康を害するものも少なくありません。しかし、殆どの化学物質は人間の感覚では測れません。そこで、化学分析の力を使って労働環境の化学物質の実態をとらえ、健康被害の防止や労働環境の改善に一役買っているのが「作業環境測定士」です。

本講演では、今大きな転換点を迎えている国内の労働環境における化学物質の管理について、作業環境測定士の仕事と共にご紹介したいと思います。

問い合わせ先：長束俊治 (natsuka@bio.sc.niigata-u.ac.jp)